

日本小児病理研究会 会報 第39号

2006年5月24日

1. はじめに

総務幹事 堀江 弘

日本病理学会、ゴールデンウィークも終わり、桜前線は北海道に到達しているところですが、今年は12年ぶりに北海道立小児総合保健センター横山繁昭先生のお世話により札幌で第26回日本小児病研究会が開催されることになっています。本号はその案内が中心となっています。また、併せて第3回小児疾患の臨床と病理セミナー、前日には小児腫瘍症例検討会も開催されることになっていますので、できるだけ多くの会員の参加をいただき、皆様とさわやかな北海道の夏を満喫したいと存じます。

なお、本号後半部分には第38号で皆様にご協力をお願いした、セミナーあるいは研究会の在り方等に対するアンケートの簡単なまとめを掲載させていただきました。皆様のご意見は出来る限り今後の研究会の活動に反映させていきたいと考えています。ご協力ありがとうございました。

2. 第26回 日本小児病理研究会のご案内

日時： 2006年9月9日（土）9：15－16：30

会場： 札幌医科大学記念ホール 札幌市中央区南1条西18丁目
地下鉄東西線「西18丁目駅」4番口より徒歩1分

主題： 『新生児・乳児期の肝・胆・膵疾患（腫瘍・代謝疾患を除く）』

特別講演： 1. 「消化器癌の分子診断と治療」（仮題）

今井 浩三 先生（札幌医科大学 学長）

2. 「実験肝発癌の分子病理」（仮題）

小川 勝洋 先生（旭川医科大学 副学長）

演題申し込み： 演題名（主題か一般演題かを明記）、出題者、所属名、抄録（200字程度を電子メール（E-mail: sigeaki.yokoyama@pref.hokkaido.lg.jp）にてご応募下さい。FAX（TEL:0134-62-5517）・郵送も可としますが、この場合、要事前連絡で併せてフロッピーまたはCD-Rの送付をお願い致します。

問い合わせ先： 〒047-0261 小樽市銭函1-10-1

北海道立小児総合保健センター 検査部 横山繁昭

TEL：0134-62-5511、FAX：0134-62-5517

締め切り： 2006年7月7日（金） 当日消印有効

参加費： 3000円

本研究会は日本病理学会から単位取得学術集会（参加5単位、発表5単位）として承認されています。なお、本会に引き続き、同会場で第3回小児病理セミナーを開催します。併せてのご参加をお待ちしています。

3. 第3回 小児疾患の臨床と病理セミナー

「肺サーファクタントと小児肺疾患の基礎と臨床」のご案内

日本小児病理研究会では、小児病理に関する理解を深めていただくために臨床医および病理医を対象としたセミナーを企画、開催しています。多数のご参加をお待ちしております。

日時： 2006年9月9日（土） 午後5時～7時00分

会場： 札幌医科大学記念ホール 札幌市中央区南1条西18丁目
地下鉄東西線「西18丁目駅」4番口より徒歩1分

対象： 小児科医、小児外科医、病理医ほか小児病理に興味のある方
(先着50名)

テーマおよび講師：

「肺サーファクタントと小児肺疾患の基礎と臨床」

(1) 肺サーファクタントの基礎とUpdate (仮題)

黒木 由夫 (札幌医科大学医学部生化学第一講座 教授)

(2) 新生児肺疾患の肺サーファクタント補充療法

新飯田 裕一 (北海道立小児総合保健センター新生児科 医長)

(3) 肺サーファクタントと小児肺嚢胞性疾患の病理

横山 繁昭 (北海道立小児総合保健センター検査部 部長)

参加費： 3000円 (ハンドアウト、軽食込み)

(なお、小児病理研究会出席者は2000円)

主催： 日本小児病理研究会

参加申し込み・問い合わせ先：

参加ご希望の方は、ご所属、ご氏名、ご住所、ご連絡先を明記の上、下記まで FAX または E-mail にてお申し込み下さい。当日会場にても受け付けます。

なお、FAX, E-mail による申し込みは8月31日にて終了とします。

日本小児病理研究会 事務局

国立成育医療センター臨床検査部病理内 松岡健太郎

TEL: (03) 3416-0181, FAX: (03)-5494-7136

E-mail: matsuo-k@ncchd.go.jp

4. コンサルテーション

9月9日（土）には研究会、セミナー関連疾患の標本供覧を午後から行います。

小児疾患の持込み標本のコンサルテーションを随時受け付けます。

お問い合わせは上記横山または松岡まで

5. 小児腫瘍組織分類委員会 症例検討会のご案内

日時： 2005年9月8日（金） 午後1時30分より

会場： 札幌医科大学記念ホール 札幌市中央区南1条西18丁目
地下鉄東西線「西18丁目駅」4番口より徒歩1分

問い合わせ先：

国立成育医療センター 小児腫瘍組織分類委員会 秦 順一

TEL：03-5494-8265, FAX：03-3416-0336,

E-mail: jhata@nch. go. jp

6. アンケート結果について

20名程の先生から下記のような回答をお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。これらのご要望に対しては、幹事を中心に討議し、今後のセミナーにおけるテーマの決定、あるいは日本小児病理研究会の運営に反映させていきたいと考えています。

なお、セミナーのテーマに関する要望では、何名かの講師の先生のご推薦もいただきましたが、この紙面では省かせていただきました。

A. 「小児疾患の臨床と病理セミナー」の主題として取り上げてほしいものについて

肝・胆道疾患 3件
肝生検 2件
呼吸器疾患 (非腫瘍性疾患)
肺嚢胞性疾患
軟部腫瘍 3件
脳のヘテロトピアの発生病理
脳腫瘍
血液疾患
白血病
組織球性病変 LCH など
SIDS 2件
周産期病理 3件
ウイルス腫瘍

B. 日本小児病理研究会に対する要望

主題を中心とするスタイル持続して欲しい
夏以外あるいは地方会でもセミナーを開いて欲しい
臨床医も興味を持てるような内容を取り入れて欲しい
例えば 周産期 胎児など

7. 地区集会のご案内

・第104回 関東東海地区病理カンファレンス

日時：2005年6月2日（金） 午後17時30分より

場所：国立成育医療センター

問い合わせ先：国立成育医療センター臨床検査部病理 中川 温子

E-mail：nakagawa-a@ncchd.go.jp

・第56回 関西小児病理研究会

日時：平成18年6月24日（土）午後1時～午後5時

場所：兵庫こども病院

担当：兵庫県立こども病院検査・放射線部 吉田牧子

8. 事務局より

1) 新入会員のご紹介

次の先生が入会されました、皆様よろしくお願ひいたします。

国立成育医療センター臨床検査部病理 渡辺 典子先生

2) ホームページリニューアルのお知らせ

ホームページを5月中にリニューアルします。是非ご覧ください。

なお、アドレスは6月より<http://www.ibmd.jp/~jspp/>となりますが、これまでのTopページからも転送されます。

3) 常任幹事選挙について

本年は幹事選挙は行われません。

4) 会費納入のお願い

本会規約により、本会会費は年間5,000円となっております。

平成18年度会費の納入を宜しくお願ひいたします。

同封の振込用紙にて払い込みのほど宜しくお願ひいたします。

会費納入について不明の点は事務局 松岡までご連絡ください。

5) 会員数 会員数は平成18年5月23日現在93名です。

日本小児病理研究会事務局

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1

国立成育医療センター臨床検査部病理内 松岡 健太郎

TEL：(03)3416-0181 FAX：(03)3416-2222

ホームページ(6月よりリニューアルされます)：

<http://www.ibmd.jp/~jspp/>